

市長定例記者会見

日 時：7月20日(水) 午後1時30分～2時

場 所：本庁舎特別会議室

出席者：一宮市 中野市長、福井副市長

報道機関 中日新聞、NHK、中部経済新聞

本日の案件は3つです。

1番目は、「『100+1日間買い物ラリー事業』を実施」についてです。市内の3店舗以上で2万円以上お買い上げいただいた方から、レシートを添付してお申し込みいただくと、抽選で1万人に地元の特産品や名物など、最高で1万円相当をプレゼントする企画です。国からの新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を使った消費喚起策です。対象期間は8月22日～11月30日で、一宮市101周年にちなみ101日間としました。応募期間は、8月22日～12月16日です。市内の全ての店舗が対象ですが、不動産・金融商品・商品券など換金性の高いものや医療費は対象外とします。応募条件は市外の方もOKで、市内3店舗以上で一会計500円以上のレシートの合計2万円以上を一口とし、お一人何口でもご応募いただけます。応募方法は、レシートを貼った応募用紙を産業振興課へ持参していただくか郵送です。応募用紙は産業振興課や出張所等で配布し、市公式ウェブサイトからもダウンロードできます。プレゼントの地元特産品は、ふるさと納税返礼採用品の中から選定する予定で、現在調整中です。昨年・一昨年は、電子決済PayPayなどによる消費喚起を行いました。今年も、電子決済を利用しない方にも応募していただけるような方法を採用しました。

2番目は「一宮市パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度を開始」についてです。いろいろな事情で婚姻届が出せない、または躊躇しているお二人がパートナーとして宣誓することができ、市から宣誓書受領証をお渡しします。また、パートナーだけでなくお子様等も含めてファミリーとして宣誓できる制度となっています。一宮市に限ってですが、当事者から市に直接、制度制定の要望はありませんでした。しかし要望が無いから放置してよいわけではありません。男女共同参画推進懇話会での議論で、門戸を開いておくべきということで、9月1日から制度を開始することになりました。相続や税金の控除など、法的な効力は持たないものの、市営住宅の入居は家族と同様に申し込むことができます。さらに、一部携帯会社ではパートナーシップの宣誓により携帯料金の家族割引などが認められており、今後拡大していくものと期待しています。小学校のお子さんのお迎えや市民病院での手術同意などについては、これまでも柔軟に対応してきましたので、特に何かが変わるわけはありません。必ずしも原理原則だけではない取り組みを、市が積極的に後押ししてチャレンジできる地域にしたいと考え、宣誓制度を始めることにいたします。

3番目は「公民館でマイナンバーカードの出張申請サポートを実施」についてです。今月はi-ビル6階一宮市立中央図書館において4日間、来月は10カ所の公民館で指定の日時に

マイナンバーカード申請の特設窓口を開設します。現在、一宮市のマイナンバーカード普及率は42.3%で、全国平均の約45%より3ポイントほど遅れています。市民の皆さまに、申請窓口を増やすことで便利に取得していただき、普及率を高めたいと思います。

最後に、コロナの状況と一宮七夕まつりについてです。本日、大村知事に一宮七夕まつり実施の意向をお伝えしました。一宮市でもコロナ感染者数は増加傾向にあり、過去最多となった2月18日の新規陽性者数414名を超えることも懸念されます。病床は尾張西部医療圏で運用しています。現在、県発表の病床使用率は、2500病床に対して500病床の2割が使用されていますが、今週から来週にかけてどうなるか心配です。七夕まつりが実施できるようにコロナ対策をとって準備を進めており、露店の出店スペースは幼稚園駐車場の一角にとどめ、出店数も例年の半分以下にする予定です。露店数を減らすことで人が集中する心配もありますが、警察とも相談して対策してまいります。また、パレードは中止し、開催時間も午後8時までとします。ご来場の皆さまには、with コロナでも楽しんでいただけるよう準備してまいります。

以上、本日の説明でございます。

質疑応答の概要

■「100+1日間買い物ラリー事業」を実施

(記者) この事業の目的は何でしょうか？

(市長) コロナ禍の地域経済を活性化するためです。引き換えの対象を商品券にすると他市でも使用できます。地元特産品を記念品とすることで、地域に還元されると同時に、地元特産品の消費の後押しにもなるよう職員が工夫を凝らしました。

(記者) 市内店舗での買い物が対象でしょうか？

(市長) はい。そうです。また、店舗が加盟手続き等を行う必要ありません。記念品は、日常生活でも需要の多い魅力的なラインナップですので、どのくらい応募していただけるか楽しみにしています。

(記者) 応募数はどのくらいを予想していますか？

(市長) 当選者数1万人に対して5万件ほどの応募を見込んでいます。お一人につき何口でも応募できますが、抽選は厳正に行います。

(副市長) 当選者1万人分を名寄せし、同じ方が重複当選していれば1つだけを当選とし、以降は10001番目の方から順次繰り上げるという方法を想定しています。

(記者) 他市町村でも同様の事業は実施されていますか？

(担当) 県内では刈谷市が過去に実施していますが、記念品は商品券や電化製品でした。県外では泉大津市、大東市、東京都足立区でも実施されていますが、記念品はすべて商品券です。記念品を地元特産品とするのは、一宮市が初です。

■一宮市パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度を開始

(記者) 携帯電話の家族割以外にも、対象となるサービスはありますか？

(市長) 企業それぞれの約款に沿う必要がありますが、生命保険の受取人になれるように柔軟に対応する事業者もでてきています。LGBTの方が宣誓することにより、保険のボタンタッチができるようになります。市の手続きでは、市営住宅の入居申し込みの際に家族と同等になります。

(記者) 学校や病院での対応は変わりますか？

(市長) 一宮市では、もともと病院での手術時の同意や、学校での引き取り時などで、その方々の実情に応じ柔軟に対応してきました。宣誓前からできていたことですので、宣誓によって対応が変わるといったようなことはありません。

■一宮七夕まつりについて

(記者) コロナ感染の状況で、縮小や中止とする基準はあるのですか？

(市長) 今回は、我々が考えられる感染対策は行っています。国や県でも新たに行動制限を設けることはないということです。その状況が続く限りは、現在予定している枠組みで進めることを考えています。